

令和3年10月長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和3年10月26日（火） 午後1時30分～午後1時57分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席者

教育長	板山 英信
委員	美濃部俊裕（教育長職務代理者）
委員	廣田 光前
委員	宮本 麻里
委員	中村 亜紀
委員	松宮 誠也

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

教育部長	酒井猛文
次長	鵜飼康治
次長	清水伊佐雄
教育総務課長	服部稔
教育改革推進室長	中北隆尚
教育指導課長	笥敏弘
すこやか教育推進課長	宮本安信
幼児課長	中島尚子
教育センター所長	織田恭淳
すこやか教育推進課担当課長	塩津浩美
教育センター室長	樋口孔司
教育総務課長代理	前嶋美和
教育総務課副参事	西川洋輔
教育総務課主事	伊賀並樹輝

6. 傍聴者  
なし

## II. 会議次第

1. 開 会
2. 議 事
  - 日程第 1 会議録署名委員指名
  - 日程第 2 会議録の承認
  - 日程第 3 教育長の報告
  - 日程第 4 議案審議
  - 日程第 5 協議・報告事項
3. 閉 会

## III. 議事の概要

1. 開 会  
教育長から開会宣言があった。
2. 会議録署名委員指名  
廣田委員、松宮委員
3. 会議録の承認  
9月定例会  
特に指摘事項はなく、9月定例会の会議録は承認された。
4. 教育長の報告

教育長：緊急事態宣言等が解除されてから校園は日常を取り戻しつつあります。

10月にかけて運動会を実施しており、残すところ中学校2校が11月に予定しているのみという状況です。校園とも昨年同様、午前中の開催で昼食はなしという形で実施しております。また、自治会ごとのテントを用意しないことや、保護者は極力立ち見でお願いするなどの感染対策を講じたうえでの開催となりました。

修学旅行についても、延期していたものを10月から順次実施しております。日程や宿泊場所の関係で実施が12月予定の数校を除き、ほとんどの学校で実施している状況でございます。行先については、岐阜や長野、広島など様々ですが関東方面は控えています。

本日、淡路島へ修学旅行に行っている学校があります。学校のホームページに旅行先の日の出の写真が投稿されており、見てみると子どもたちも楽しくやっている様子でした。子どもたちにとっては大切な思い出づくりになると考

えるところでございます。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、文化発表会のような合唱を行う行事については、やむを得ず中止することがあるものの、参観日等を企画している学校もあり、少しずつ様々なものが再開できる形で2学期を折り返せるのではないかと感じております。

現在、令和3年度絵手紙作品の入賞作品を市内の会場で展示をしております。先日、入賞された子どもや一般の方にお越しいただき、賞状をお渡しさせていただきました。

最近では、年賀状ですら書かない人がいるなど、手紙を書く機会というのは本当に少なくなっていると思います。自分の思いを絵で表現し、言葉を添えると、一人一人の人間性が出ると改めて感心しているところでございます。

今年は昨年より多くの応募をいただいたということで、事業が定着しつつあることを感じております。

感染対策についてですが、現在は校園の子どもたちがPCR検査を受けるといったことはほとんど聞かなくなっております。しかし、8月下旬に開催した新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー会議にて、第6波は想定しておくべきという意見がありました。11月前半にかけて感染の拡大に備える必要があると考えているところでございます。

また、運動会の視察の際に校園の校長先生、園長先生に話を聞くと、例年は運動会後に慰労会を開催するが、企画している校園は一つもないという状況でした。忘年会や送別会といったものが実施できる時が来ればよいなと思います。

## 5. 議案審議

審議案件なし

## 6. 協議・報告事項

協議・報告案件なし

## 7. その他

美濃部委員：私は新型コロナウイルス感染症の影響により、校園と地域の連携が切れてしまわないか心配しています。以前は、教育というものは校園の中で完結していたと思います。なにか問題が生じて外には出ないし、逆に外からの関与もないという特殊な世界でした。現在の校園は、地域の方の協力のもと教育の幅を広げるといったコミュニティ・スクール化が随分進んだと感じております。

新型コロナウイルス感染症の影響により様々なことが変化しました。その中で不要と分かったものについては、この際やめておけばよいという風潮があります。しかし、大事なものはもう一度スタートさせる必要があると思います。

校園だけの狭いところで進むのではなく、地域と連携、一体化することを進めていただきたいと思います。

宮本委員：息子が久しぶりにバスで校外学習に行ったのですが、とても楽しかったと喜んでいました。クラスのみんなでいつもと違う体験ができるということは子どもにとって楽しい思い出になると改めて感じました。

しかし、娘が文化祭でダンスを発表する予定だったのですが、やむなく文化祭が中止となってしまいました。一生懸命練習していたため、中止になってしまったことに対して、怒ってしまうのではないかと思いましたが、意外にもすぐに受け入れていました。聞き分けがよいなと思う一方、諦め癖がついてしまったらどうしようと思いました。感染の拡大防止のためなんでもしょうがないと割り切ることに慣れてしまうのではなく、悔しさを持つことも忘れないでほしいと思いました。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため外出することが減り、保護者の方は誰かに相談する機会が減っていると思います。問題が家庭の中で広がってしまい、何か大きな問題にならなければよいな思います。

松宮委員：私も四、五年前に淡路島の伊弉諾神宮というところに行きました。その際、宮司の息子の方に伊弉諾神宮は長浜八幡宮とつながりがあり、長浜八幡宮へ修業に行ったりするということを聞き、土地同士のつながりのおもしろさを感じました。子どもたちにも修学旅行を通して、土地や歴史のつながりなどのおもしろさを感じたり、修学旅行の学びを通して地元に興味をもつことができればよいなと思いました。

中村委員：私は小学校で読み聞かせの活動をしています。10月から学校の要望を受けて活動を再開しています。活動を休止していた期間が長いため、集まることのできるボランティアの人数が以前に比べて少ない状況ではありますが、他のボランティア団体と協力しながら活動しています。図書館の読み聞かせもこの11月から活動を始めるということで、少しずつ日常を取り戻せているのではないかと思います。いろいろなことが再開できるようになることを願っています。

廣田委員：私は孫を連れて化石を探しに行ったことがあります。5歳の孫は、落ちていた石を恐竜の卵だと言って喜んでいました。教室の中で学ぶだけでなく、実際に足を運ぶことで勉強になることもあるのだと思いました。

私は、天文学を勉強しており、星空の写真を撮影することが多いです。現在、カシオペア銀河が見られませんが、30分ほどの時間をかけて撮影しました。その30分間に刻々と光が変わり、景色も変わるということにおもしろさを感じています。学校の行事で天体観測をするということがあれば私も少しは貢献できるのではないかと考えています。

教育長：今年度の運動会は、多くの子どもたちの姿を見ることができました。就学前の園では、子どもたちが楽しんでいることはもちろんのこと、先生方が本

当に楽しんでいる様子が見られました。

また、ある中学校で生徒全員が必死になって走っていた姿が印象に残っています。中学生は思春期ということもあり、一生懸命に取り組まないこともあります。その中学校では、全員がたとえ最下位でも最後まで諦めずに全力で走らなければいけないという気持ちが伝わってきました。

6年生の種目で集団行動に取り組んだ学校も印象に残っています。日本体育大学の集団行動のパフォーマンスのように、集団で歩いて交差したり、列を組みなおしたりといったことにチャレンジしていました。早く歩くことが苦手な仲間に対して、みんなで助け合っている姿や、子どもたちが一生懸命に取り組む姿に自然に拍手をしたくなりました。

## 8. 閉会

教育長から閉会宣言があった。